

ばんせい 活動プログラム集

2023年8月改訂

独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立磐梯青少年交流の家

	活動プログラム名	活動時期	所要時間	研修指導員 依頼 (※1)	指導 料金 (※2)
登山	①磐梯山登山（八方台往復コース）	6月～9月	8時間	◎	18,000円
ハイキング	②五色沼探勝路ハイキング	5月～10月	4時間	○	11,200円
	③天鏡台ハイキング（※4）		3時間		
	④ナイトハイキング【ショート】 ナイトハイキング【ロング】	5月～10月	30分 1時間		
オリエンテ ーリング	⑤スコアオリエンテーリング（※4）	5月～10月	2～3.5 時間		
	⑥樹木オリエンテーリング	5月～10月	1.5～2 時間		
	⑦屋外こごっこ	5月～10月	1.5～2 時間		
	⑧屋内こごっこ	通年 （屋内）	1.5～2 時間		
	⑨イングリッシュオリエンテーリング	通年 （屋内）	1.5～2 時間		
野外炊飯 （※4）	⑩カレーライス・焼肉	5月～10月	3～4 時間		
創作活動 （※4）	⑪赤べこの絵付け	通年	1.5 時間		
	⑫流紋焼き（絵付け）	通年	1.5 時間		
	⑬流紋焼き（手びねり）	通年	2時間		
	⑭会津漆蒔絵	通年	1.5 時間		
セレモニー	⑮キャンプファイヤー	5月～10月	2時間		
	⑯キャンドルファイヤー	通年	1時間		
自然観察	⑰天体観察（※3）	通年	1～2 時間	○	5,600円
講話	⑱震災講話（※5）	現在休止となっております			
冬の活動	⑲そり・スノーチューブ	1月～3月 （積雪時）	任意		
	⑳スノーシューハイキング		2～3 時間	○	2,800円
	㉑雪遊び		任意		

（※1）○は研修指導員依頼可能、◎は研修指導員依頼が必須の活動です。研修指導員の依頼は10名以上の団体に限ります。

（※2）指導員1人の料金です。登山と五色沼探勝路ハイキング、天体観察は1回当たり、スノーシューハイキングは1時間当たりの料金です。

（※3）研修指導員が手配できない場合は望遠鏡の貸し出しのみとなります。

（※4）活動できるのは10名以上の団体に限ります。

（※5）震災講話については講師の都合により、現在は休止となっております。

①磐梯山登山（八方台登山口往復コース）



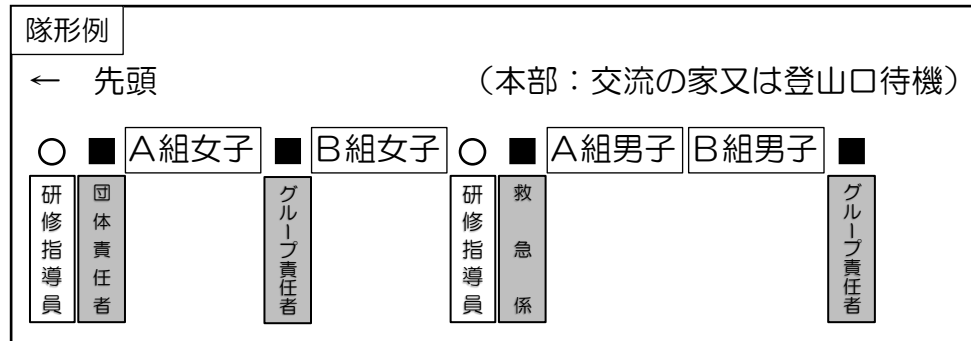
（活動時間の目安：8時間）

概要	山頂の高さが1800mでスタート地点の八方台登山口の標高が1200mなので、山頂との標高差は約600mの高低差が少ないコースです。晴天時には山頂から猪苗代湖が一望できます。			
ねらい	集団で自然体験活動をすることで生きる力や自己有用感を育むとともに、心身の健康を図ります。			
条件	対象	小学5年生～	人数	制限はないが1クラスに1名の引率者が必要
	時期	山開き後～9月	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家(貸出物品)		団体(準備物)	個人(準備物)
	<input type="checkbox"/> 熊鈴 <input type="checkbox"/> 地図・登山マップ <input type="checkbox"/> 方位磁針 <input type="checkbox"/> トランシーバー（研修指導員用）		<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 登山計画書 <input type="checkbox"/> 非常時簡易トイレ <input type="checkbox"/> 非常用水・非常食 <input type="checkbox"/> 携帯電話・時計	<input type="checkbox"/> デイバック <input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン <input type="checkbox"/> 帽子、水筒（水1ℓ以上） <input type="checkbox"/> 雨具
引率者の役割	団体責任者	<ul style="list-style-type: none"> 研修指導員との事前打合せと当日の実施判断・中断の決定をします。 交流の家に下記4地点で連絡を行います。（登山前の八方台登山口・弘法清水小屋・頂上・下山後の八方台登山口） 		
	グループ責任者	<ul style="list-style-type: none"> 出発前と活動中及び到着後の人数の把握と健康状態の確認をします。 研修指導員からの指示や注意事項などを参加者に伝えます。（学校では担任が一般的） 		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
	本部係	交流の家又は登山口で緊急車両を用意して待機し、途中下山者対応に備えます。		
研修指導員の役割	<ul style="list-style-type: none"> 活動当日の朝に交流の家で団体責任者と打合せをします。 登山口で参加者に安全面についての説明をします。 活動中は道案内や危険個所で状況に応じた指示を出します。 下山後に交流の家で団体責任者と振り返りをします。 			
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> 物品の貸出や回収を行います。 団体責任者からの連絡を受け取ります。 当日の朝の打合せ、下山後の振り返りの進行を行います。 			

活動の流れ	<p>【施設入所前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に登山をしてコースと時間配分の確認をします。 ・入所 40 日前までに指導員依頼（活動日程表の提出）をします。目安は 1 クラスに対して指導員 1 名となります。 ・登山当日までに日程・登山形態（安全管理・留意事項欄参照）を計画して登山計画書（届）を 2 部作成します。（登山ポスト又は猪苗代警察署用に 1 部、交流の家用に 1 部） ・事前に役割分担や参加者への指導（安全指導、装備確認）などを行います。 ・活動日の天候等により登山を中止する場合は登山前日の 16 時まで交流の家に連絡をします。 <p>【施設入所後に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の家に登山計画書（届）を 1 部提出します。 ・登山時の持ち物や実施判断についての確認をします。食堂で弁当を注文した場合は、受け渡し場所や時刻も確認します。
	<p>【登山当日～登山口到着】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体責任者は研修指導員と 7：45 に事務室にて実施の判断をします。詳細は登山判断基準（安全管理・留意事項欄参照）をご覧ください。実施決定後に打合せを行います。 ・団体と研修指導員は団体の車両で八方台登山口に移動します。 ・登山口到着後にグループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 ・引率者は参加者の態勢を整え、研修指導員の説明（主に安全面について）を参加者と一緒に聞きます。 <p>【登山中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ責任者は休憩時などに参加者の点呼と健康観察を行います。また、研修指導員と適宜相談をして安全に活動できるように参加者を指導します。 ・グループ責任者はペースが遅くなった参加者がいた場合に研修指導員と団体責任者へ状況を伝えて、指示を仰ぎます。 ・団体責任者は傷病者が発生した場合に救急係に応急手当の指示を出し、研修指導員と相談して登山継続か下山するかを判断します。下山する場合は本部係とグループ責任者に指示を出すなど傷病者対応をします。また、天候の急変その他の事情が発生した場合は研修指導員と相談して、途中下山の判断と指示を出します。 <p>【下山後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認をします。 ・グループ責任者は貸出物品を事務室に返却します。 ・団体責任者は事務室で研修指導員と振り返りを行います。

安全管理
留意事項

- 研修指導員の都合によりご希望の人数が手配できない場合があります。
- 登山隊形については、引率者の配置は先頭に1名（団体責任者）～中継1名以上～後尾1名としてください。（下記例参照）



- 引率者は登山日の活動をゆとりのある計画にしてください。
- 引率者は登山前や登山中にコースの逸脱、石を蹴る、走る、研修指導員の説明を聞かないなどの危険行為がないように指導してください。
- 参加者は植物や樹木などを採集せずに、ごみは持ち帰ってください。
- 参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策（虫よけスプレー、長袖長ズボン）をしてください。
- 引率者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。
- 登山を中止する場合は前日に16時までに交流の家に連絡をお願いします。
- 登山活動実施判断基準は下記表の通りです。判断基準に該当する天候の場合は、安全管理上登山の実施を中止としています。また安全確保のために登山の途中で下山する場合があります。
- 貸出物品の破損・紛失の場合には団体に弁償していただきます。

警報または注意報	大雨	強風	雷
	大雪	暴風	火山
降水量	5mm/h以上		
風速	10m/s以上		
その他	著しく気象の変化がある		
	利用者からの中止の申し入れ		
	交流の家として中止と判断したとき		

② 五色沼探勝路ハイキング



(活動時間の目安：4時間)

概要	「五色沼自然探勝路」を歩くハイキングです。磐梯山の噴火によってできた「五色沼湖沼群」を見ながら、様々な種類の植物を観察することができます。			
ねらい	集団で自然体験活動をすることで生きる力や自己有用感を育むとともに、心身の健康を図ります。			
条件	対象	小学1年生～	人数	制限なし
	時期	5月～10月	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家(貸出物品)	団体(準備物)	個人(準備物)	
	<input type="checkbox"/> 熊鈴 <input type="checkbox"/> 地図 <input type="checkbox"/> トランシーバー(研修指導員用)	<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 携帯電話・時計	<input type="checkbox"/> デイバック <input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン <input type="checkbox"/> 帽子・水筒 <input type="checkbox"/> 雨具	
引率者の役割	団体責任者	研修指導員との打ち合わせ(研修指導員を依頼した場合)と実施判断・中断の決定をします。		
	グループ責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・出発前と活動中及び到着後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・研修指導員からの指示(研修指導員を依頼した場合)や注意事項などを参加者に伝えます。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
研修指導員の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・活動日(出発の30分前)に交流の家で団体責任者と打合せをします。 ・活動中は道案内をしたり、危険個所で状況に応じた指示を出したりします。 ・活動終了後に交流の家で団体責任者と振り返りをします。 			
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・物品の貸出や回収を行います。 ・団体責任者からの連絡を受け取ります。 ・当日出発前の打合せ、活動後の振り返りの進行を行います。 			
活動の流れ	【活動実施前に引率者が行うこと】 <ul style="list-style-type: none"> ・事前にハイキングルート、所要時間、危険箇所等を確認します。 ・引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導(安全指導・準備確認など)をします。 【ハイキング当日】 <ul style="list-style-type: none"> ・裏磐梯物産館駐車場到着後にグループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 ・グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 【実施後】 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をし、貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。 			

③天鏡台ハイキング



(活動時間の目安：3時間)

概要	「天鏡台(昭和の森)」という自然公園と交流の家を往復するハイキングです。猪苗代湖と磐梯山の風景を楽しむことができる活動プログラムです。			
ねらい	集団で自然体験活動をすることで生きる力を育むとともに、心身の健康の充実を図ります。			
条件	対象	小学3年生～	人数	制限なし
	時期	5月～10月	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家(貸出物品)		団体(準備物)	個人(準備物)
	<input type="checkbox"/> 熊鈴 <input type="checkbox"/> 地図		<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 時計	<input type="checkbox"/> デイバック <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 水筒
引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。		
	グループ責任者	出発前と活動中及び到着後の人数の把握と健康状態の確認をします。(学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> • 物品の貸出や回収を行います。 • 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 			
活動の流れ	<p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 事前にハイキングルート、所要時間、危険箇所等を確認します。 • 引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導(安全指導・準備確認など)をします。 <p>【ハイキング当日】</p> <ul style="list-style-type: none"> • グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 • グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> • グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をし、貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。 			
安全管理留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者は車道を歩く際は車両の往来に気を付けてください。 ○参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策(虫よけスプレー、長袖長ズボン)をしてください。 ○引率者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。 ○活動は10名以上の団体に限ります。 			

④ナイトハイキング



【活動時間の目安：ショート（30分） ロング（1時間）】

概要	交流の家の敷地内コースを夜間歩く活動です。視覚がさえぎられることにより視覚以外の感覚が鋭敏になり、普段気づかない「音」や「におい」、「風の流れ」などを感じることができ、感性を磨くことができます。コースはショート（約800m）、ロング（約2km）の2種類があります。			
ねらい	夜間に自然に親しむとともに、心身の健康の充実を図ります。			
条件	対象	小学1年生～	人数	制限なし
	時期	5月～10月	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家(貸出物品)	団体（準備物）	個人（準備物）	
	<input type="checkbox"/> 地図 <input type="checkbox"/> 熊鈴	<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 長袖、長ズボン <input type="checkbox"/> 懐中電灯	
引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。また安全の確保のために引率者のコース配置を指示します。		
	グループ責任者	活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> • 物品の貸出や回収を行います。 • 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 			
活動の流れ	<p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 明るいうちにハイキングルート、所要時間、危険箇所、引率者の配置場所等を確認します。 • 引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導（安全指導・準備確認など）をします。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> • グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 • グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 • 引率者は配置された場所に待機して、各グループの通過や安全確認を行います。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> • グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をし、貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。 			
安全管理留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ責任者は明るいうちに必ずルートの確認を行ってください。 ○引率者は参加者がコースや集団から離れないように引率者同士で適宜連絡を取り合ってください。 ○参加者は懐中電灯を一人1個準備してください。 ○参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策（虫よけスプレー、長袖長ズボン）をしてください。 ○活動の途中で立ち止まって明かりを消し、声も音も出さない時間を作るとより自然を感じることができます。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。 			

⑤スコアオリエンテーリング



(活動時間の目安：2時間～3.5時間)

概要	地図に描かれた25個のコントロールポスト(下の写真)を歩いて探し、解答用紙には数字と対になっているアルファベットを記入します。見つけた数に応じて点数を獲得する活動プログラムです。			
ねらい	協調性の育成と心身の健康の充実を図ります。			
条件	対象	小学3年生～	人数	制限なし
	時期	5月～10月	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家(貸出物品)	団体(準備物)		個人(準備物)
	<input type="checkbox"/> オリエンテーリングセット(バインダー・地図・解答用紙) <input type="checkbox"/> 熊鈴	<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 時計		<input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 長袖、長ズボン <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> タオル
引率者の役割	団体責任者	<ul style="list-style-type: none"> 実施判断・中断の決定をします。また発着地点で全体の総括、指揮、連絡をします。 安全の確保のために引率者のコース配置を指示します。 		
	グループ責任者	<ul style="list-style-type: none"> 活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 発着地点で計時、記録、集計、順位の決定をします。 安全の確保と事故防止のためのコース巡回をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> 物品の貸出や回収を行います。 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 			
活動の流れ	<p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導(安全指導・準備確認など)をします。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 引率者は配置された場所に待機して、各グループの通過や安全確認を行います。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をし、貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。 参加者は答え合わせをして得点を知ります。 			
安全管理留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○引率者の配置は本部と地図の⑨⑬⑱付近にしてください。また、引率者同士で各グループの通過などの連絡を適宜取り合ってください。 ○参加者は走らずに同じグループで一緒に行動してください。道が分からなくなった場合は来た道を引き返してください。 ○参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策(虫よけスプレー、長袖長ズボン)をしてください。 ○引率者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。 ○活動は10名以上の団体に限ります。 			

⑥樹木オリエンテーリング



(活動時間の目安：1.5時間～2時間)

概要	交流の家の敷地内にある「樹木1」～「樹木20」までのプレートがついた樹木を「地図」を手がかりに樹木を見つけ、何の樹木なのかを当てます。見つけた数に応じて点数を獲得する活動プログラムです。			
ねらい	自然に親しみ、協調性の育成を図ります。			
条件	対象	小学1年生～	人数	制限なし
	時期	5月～10月	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家(貸出物品)	団体(準備物)		個人(準備物)
	<input type="checkbox"/> オリエンテーリングセット(バインダー・地図・解答用紙) <input type="checkbox"/> 熊鈴	<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 時計		<input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 長袖、長ズボン <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> タオル
引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。また発着地点で全体の総括、指揮、連絡をします		
	グループ責任者	<ul style="list-style-type: none"> 活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 発着地点で計時、記録、集計、順位の決定をします。 安全の確保と事故防止のためのコース巡回をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> 物品の貸出や回収を行います。 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 			
活動の流れ	<p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導(安全指導・準備確認など)をします。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をし、貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。 参加者は答え合わせをして得点を知ります。 			
安全管理留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○引率者は適宜コース内を巡回してください。また、引率者同士で適宜連絡を取り合ってください。 ○参加者は走らずに同じグループで一緒に行動してください。また、道が分からなくなった場合は来た道を引き返してください。 ○参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策(虫よけスプレー、長袖長ズボン)をしてください。 ○引率者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。 			



⑦屋外こことこ



(活動時間の目安： 1.5時間～2時間)

概要	交流の家の敷地を利用した屋外活動プログラムです。写真シートに示される20カ所のポイントがどこにあるのかを見つけて地図に記入します。見つけた数に応じて点数を獲得する活動プログラムです。			
ねらい	自然に親しみ、協調性の育成を図ります。			
条件	対象	小学1年生～	人数	制限なし
	時期	5月～10月	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家(貸出物品)	団体(準備物)		個人(準備物)
	<input type="checkbox"/> オリエンテーリングセット【(バインダー・地図・解答用紙(ヒントあり・ヒントなし)) <input type="checkbox"/> 熊鈴	<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 時計		<input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 長袖、長ズボン <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> タオル
引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。また発着地点で全体の総括、指揮、連絡をします。		
	グループ責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・人数の把握と健康状態の確認をします。 ・発着地点で計時、記録、集計、順位の決定をします。 ・安全の確保と事故防止のためのコース巡回をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員 の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・物品の貸出や回収を行います。 ・引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 			
活動の流れ	<p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導(安全指導・準備確認など)をします。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 ・グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をし、貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。 ・参加者は答え合わせをして得点を知ります。 			
安全管理 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○引率者は適宜コース内を巡回してください。また、引率者同士で適宜連絡を取り合ってください。 ○参加者は走らずに同じグループで一緒に行動してください。また、道が分からなくなった場合は来た道を引き返してください。 ○参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策(虫よけスプレー、長袖長ズボン)をしてください。 ○引率者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。 			

⑧屋内こことこ



(活動時間の目安：1.5 時間～2 時間)

概要	交流の家館内で行なう活動プログラムです。写真シートに示される20カ所のポイントがどこにあるのかを見つけ、地図に記入します。見つけた数に応じて点数を獲得する活動プログラムで雨天でも活動することができます。			
ねらい	館内の各場所を知るとともに、協調性の育成を図ります。			
条件	対象	小学1年生～	人数	制限なし
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家(貸出物品)	団体(準備物)	個人(準備物)	
	□オリエンテーリングセット(バインダー・写真シート・解答用紙・解答)	□救急セット	□筆記用具	
引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。また発着地点で全体の総括、指揮、連絡をします。		
	グループ責任者	<ul style="list-style-type: none"> 活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 発着地点で計時、記録、集計、順位の決定をします。 安全の確保と事故防止のためのコース巡回をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員 の役割	<ul style="list-style-type: none"> 物品の貸出や回収を行います。 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 			
活動の流れ	<p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導(安全指導・準備確認など)をします。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をし、貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。 参加者は答え合わせをして得点を知ります。 			
安全管理 留意事項	○参加者は走らずに同じグループで一緒に行動してください。			
	○参加者は交流の家館内地図の塗りつぶし箇所(立ち入り禁止場所)には入らないでください。			
	○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。			



⑨イングリッシュオリエンテーリング【屋内】



(活動時間の目安：1.5時間～2時間)

概要	交流の家館内で行なう活動プログラムです。ヒント地図を参考に英語で書かれたクイズ探して解答する活動プログラムです。問題は20問あり、全てのクイズに答えると最後にスペシャルクイズが1つ現れます。			
ねらい	館内の各場所を知るとともに、協調性の育成と英語への興味・関心の向上を図ります。			
条件	対象	小学3年生～6年生	人数	制限なし
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家(貸出物品)	団体(準備物)	個人(準備物)	
	<input type="checkbox"/> オリエンテーリングセット(バインダー 地図・解答用紙・解答・手引き) <input type="checkbox"/> ヒント地図	<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> 筆記用具	
引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。また発着地点で全体の総括、指揮、連絡をします。		
	グループ責任者	<ul style="list-style-type: none"> 活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 発着地点で計時、記録、集計、順位の決定をします。 安全の確保と事故防止のためのコース巡回をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> 物品の貸出や回収を行います。 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 			
活動の流れ	<p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導(安全指導・準備確認など)をします。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をし、貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。 参加者は答え合わせをして得点を知ります。 			
安全管理留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者は走らずに同じグループで一緒に行動してください。 ○表現解答があるので、引率者は解答を事前に確認してください。 ○参加者は交流の家館内地図の塗りつぶし箇所(立ち入り禁止場所)には入らないでください。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。 			



⑩野外炊飯（カレーライス・焼肉）



（活動時間の目安：3時間）


概要	仲間と協力しながら、野外炊飯棟でカレーや焼肉を作ります。			
ねらい	グループで取り組むことで協調性や計画性を養います。また、食材を無駄にすることのないように活動を行うことで、食べ物への感謝を意識させます。			
条件	対象	小学3年生～	人数	10名～200名
	時期	5月～10月	実施判断	落雷時は一時中断
準備物	交流の家(貸出物品)	団体（準備物）	個人（準備物）	
	<input type="checkbox"/> 食器 （箸、スプーン、フォーク、皿、お椀） <input type="checkbox"/> 野外炊飯の道具 （羽釜、鉄板、鍋、包丁、ピーラー、まな板、トング、フライ返し、ザル、ボウル、しゃもじ、おたま、菜箸、耐熱グローブ、火ばさみ、レンガ） <input type="checkbox"/> 食材（有料） <input type="checkbox"/> 薪（有料）	<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 布巾 <input type="checkbox"/> 点火用具・新聞紙 <input type="checkbox"/> クレンザー（鍋底に塗る用） <input type="checkbox"/> スポンジ・食器洗剤 <input type="checkbox"/> たわし（金たわし） <input type="checkbox"/> 虫除けスプレー等	<input type="checkbox"/> 長袖、長ズボン <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 軍手（綿100%、ゴム素材がついていないもの）	
引率者の役割	団体責任者	<ul style="list-style-type: none"> 活動の一時中断の決定をします。また活動全体の総括、指揮、連絡をします。 安全の確保と事故防止のために引率者の配置を指示します。 		
	グループ責任者	<ul style="list-style-type: none"> 活動前後の点呼を行います。 火や刃物を取り扱う場面での適切な管理・指導をします。（学校では担任が一般的） 		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> 引率者に活動場所と野外炊飯倉庫の場所と説明をします。 物品の貸出を行います。 貸出物品の返却前に点検をします。 			
活動の流れ	<p>【施設入所前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流の家ホームページにある野外炊飯動画を参加者に視聴させ、事前指導（安全指導・準備確認など）を行います。 食材や薪を購入する場合は、入所40日前までに食事申込書を提出します。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体責任者は開始時間30分前（9:30、14:30）に野外炊飯倉庫で食材の引き渡しに立会います。その後、交流の家職員から用具や活動場所についての説明を受けます。 			

	<ul style="list-style-type: none"> • グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。その後安全面について指導を行います。 • 団体責任者は活動する炊飯棟や野外炊飯倉庫、薪置き場などの場所を参加者に説明します。また、引率者に包丁庫と薪置き場への配置を指示します。 • 引率者は包丁庫と薪置き場で参加者に安全に物品を渡します。 • 参加者は食器や調理器具の数を確認してから食器を洗い、調理を開始します。 • 団体責任者は検食用の検体を採取し、検食袋に入れて野外炊飯棟の冷蔵庫の所定の場所へ提出します。なお、団体で持ち込んだ食材の提出は不要です。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 団体責任者は点検開始 10 分前に交流の家事務室へ電話し、点検の依頼をします。（お電話を受けた 10 分後に点検を開始します。） • 参加者は使用した食器や調理器具を洗い、布巾で水滴を拭き上げます。燃え残った炭はドラム缶の中に入れます。 • 引率者・参加者は使用した炊飯棟のテーブルや床、排水溝、トイレなどを清掃します。また、ごみは分別してごみ箱に捨てます。 • 参加者は交流の家職員による食器点検後に、食器や調理器具を返却します。返却の際は包丁庫に引率者を必ず配置してください。
<p>安全管理 留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○引率者と参加者は入所前に当交流の家ホームページの野外炊飯動画を見てください。 ○活動は 10 時から 13 時、夕食は 15 時から 18 時までとなります。なお、活動の進行により 18 時を過ぎた場合、または点検が 18 時 30 分までに終了しなかった場合は翌日 9 時以降に点検を受けていただきます。 ○片づけについては、交流の家職員の点検を受けた後に食器や調理用具を野外炊飯倉庫の所定の位置に戻します。 ○活動は 10 名以上の団体に限ります。

⑪赤べこの絵付け




(活動時間の目安：1.5 時間)

概要	赤く塗られた牛の張り子に、筆を使って白と黒のアクリル絵の具で模様を描く活動プログラムです。			
ねらい	日本の伝統工芸について学び、創造性と独創性を豊かにします。			
条件	対象	幼児～	人数	10 名以上
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家・業者（貸出物品）	団体（準備物）	個人（準備物）	
	<input type="checkbox"/> 赤べこ…1,200 円 <input type="checkbox"/> 筆、塗料（白と黒） <input type="checkbox"/> 説明資料（指導の手引き） <input type="checkbox"/> 新聞紙	<input type="checkbox"/> 特になし	<input type="checkbox"/> 汚れてもいい服装	
引率者の役割	団体責任者	時間管理や全体の状況把握、活動の指導をします。		
	グループ責任者	活動中の人数の把握と健康状態の確認をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員 の役割	<ul style="list-style-type: none"> • 物品の貸出や回収を行います。 • 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 			
活動の流れ	<p>【施設入所前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 実施40日前までに活動日程表に個数を記入して提出します。 <p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 事務室で赤べこの個数を確認します。交流の家職員から活動の流れと留意事項についての説明を聞き、配付資料を受け取ります。 • 新聞紙を活動場所に敷き、アクリル絵の具（白と黒）を絵具入れに出し、桶に水を入れます。絵の具も桶も2～3人で一緒に使用します。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 引率者は参加者に作成手順と留意点を説明します。 • 参加者は絵の具で赤べこを塗装します。白色から塗り、塗り終わったら黒色の絵の具を塗ります。絵の具を白から黒に変える時は桶で筆を洗うか、一緒に塗装をする人と筆を交換します。絵付けが終わったら10～15分程度その場に置いて乾燥させます。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> • グループ責任者は貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。 • 引率者と参加者で実施場所の清掃と机・椅子などを使用前の状態に整頓します。 			
安全管理 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○指導は引率者での実施となります。その際は指導用資料をお渡しします。 ○作品は当日持ち帰ることができます。 ○活動は10名以上の団体に限ります。 			

⑫流紋焼き（絵付け）



（活動時間の目安：1.5 時間）

概要	素焼きした器に釉薬（ゆうやく）で模様を描きます。釉薬は濃青、こげ茶、緑の中から組み合わせて絵付けすることで、作品をつくることができます。			
ねらい	日本の伝統工芸について学び、創造性と独創性を豊かにします。			
条件	対象	幼児～	人数	10名以上
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家・業者（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	<input type="checkbox"/> 素焼きの器 湯のみ/皿 …1,000円 コーヒーカップ…1,100円 マグカップ …1,700円 <input type="checkbox"/> 筆・釉薬・新聞紙 <input type="checkbox"/> 説明資料（指導の手引き）	<input type="checkbox"/> 特になし		<input type="checkbox"/> 汚れてもよい服装 
引率者の役割	団体責任者	時間管理や全体の状況把握、活動の指導をします。		
	グループ責任者	活動中の人数の把握と健康状態の確認をします。 （学校では担任が一般的）		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> • 物品の貸出や回収を行います。 • 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 			
活動の流れ	<p>【施設入所前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 実施40日前までに活動日程表に器と個数を記入して提出します。 <p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 事務室で素焼きの器の個数を確認します。業者が指導できない場合は交流の家職員から活動の流れと留意事項についての説明を聞きます。 • 新聞紙を活動場所に敷いてから釉薬を置き、筆洗い用の桶に水を入れます。釉薬も桶も2～3人で一緒に使用します。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 団体責任者は参加者に作成手順と留意点を説明します。 • 参加者は釉薬を素焼きの器に絵付けします。釉薬は混ぜずに使用します。色を変える場合は桶で筆を洗うか、一緒に絵付けをする人と筆を交換します。 • その場に置いて乾燥させます。（焼き上げは業者が行います。） <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> • グループ責任者は貸出物品を回収します。回収した物品と作成した器を事務室に返却します。 • 引率者と参加者で実施場所の清掃と机・椅子などを使用前の状態に整頓します。 			
安全管理留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○業者が指導できない場合は引率者の指導となります。 ○荒天時の代替プログラムとしての計画ができます。 ○作成した器は業者が窯で焼き上げるため、完成までに1～2ヶ月程度の時間を要します。別途送料が必要です。お届け先をお知らせください。詳細については業者までお問い合わせをお願いします。 （窯元流紋焼き tel：0242-56-2221） ○活動は10名以上の団体に限ります。 			

⑬流紋焼き（手びねり）



（活動時間の目安：2時間）

概要	自分の手で粘土から皿やカップなど様々な形を作る体験です。形ができてから濃青、つや消し黒、緑、水色の釉薬（ゆうやく）の中から1色を選んで、職人の方に着色していただきます。窯の中で釉薬が溶けて流れ、種々様々な紋様が浮かび上がった作品ができあがります。			
ねらい	日本の伝統工芸について学び、創造性と独創性を豊かにします。			
条件	対象	幼児～	人数	10名以上
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家・業者（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	<input type="checkbox"/> 500g 粘土…1,500円 <input type="checkbox"/> 釉薬（ゆうやく） <input type="checkbox"/> 新聞紙	<input type="checkbox"/> 特になし		<input type="checkbox"/> 汚れてもよい服装
引率者の役割	団体責任者	時間管理や全体の状況把握、活動の指導をします。		
	グループ責任者	活動中の人数の把握と健康状態の確認をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> • 物品の貸出や回収を行います。 • 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 			
活動の流れ	<p>【施設入所前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 実施40日前までに活動日程表に個数を記入して提出します。 <p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 活動場所で業者から活動の流れと留意事項についての説明を聞きます。 • 業者の指示で新聞紙を活動場所に敷き、粘土を準備します。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 参加者は業者の指導で粘土を成形します。成形が終わったらその場に置いて乾燥させます。（焼き上げと着色は業者が行います。） <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 引率者と参加者で実施場所の清掃と原状復帰をします。 			
安全管理留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○業者が指導できない場合は実施できません。 ○荒天時の代替プログラムとしての計画ができます。 ○作成した器は業者が窯で焼き上げるため、完成までに1～2ヶ月程度の時間を要します。別途送料が必要です。お届け先をお知らせください。詳細については業者までお問い合わせをお願いします。 (窯元流紋焼き tel: 0242-56-2221) ○活動は10名以上の団体に限ります。 			

⑭会津漆蒔絵



(活動時間の目安：1.5 時間)

概要	漆器の表面に塗料で絵を描き、色金粉を蒔いて装飾する活動プログラムです。			
ねらい	日本の伝統工芸について学び、創造性と独創性を豊かにします。			
条件	対象	幼児～	人数	10名以上
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家・業者（貸出物品）	団体（準備物）	個人（準備物）	
	<input type="checkbox"/> 会津漆器 1,100円(箸1善、お椀、小皿、スプーン・レンゲセット) <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 筆 <input type="checkbox"/> 塗料 <input type="checkbox"/> 色の粉	<input type="checkbox"/> 特になし	<input type="checkbox"/> 汚れてもよい服装	
引率者の役割	団体責任者	時間管理や全体の状況把握、活動の指導をします。		
	グループ責任者	活動中の人数の把握と健康状態の確認をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> • 物品の貸出や回収を行います。 • 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 			
活動の流れ	<p>【施設入所前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 実施40日前までに活動日程表に漆器の種類と個数を記入して提出します。 <p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 事務室で漆器の種類と個数を確認し、交流の家職員から活動の流れと留意事項についての説明を聞きます。業者が指導できない場合は配付資料も受け取ります。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 団体責任者は業者と打ち合わせをして進行をします。業者が指導できない場合は、団体責任者が参加者に作成手順と留意点を説明します。 • 参加者は塗料を筆先に付けて文字や絵を描きます。塗料に息を吹きかけて乾かした後に色金粉を乾いた筆に付けて、塗料の上に載せていきます。余分な色金粉をきれいな布で拭き取って完成させます。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 引率者と参加者で実施場所の清掃と原状復帰をします。 			
安全管理留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○業者が指導できない場合は引率者の指導となります。その際は事務室にて指導用資料をお渡しします。 ○荒天時の代替プログラムとしての計画ができます。 ○塗料のにおいが強いので、換気を十分に行って活動をしてください。 ○作品は当日持ち帰ることができます。 ○活動は10名以上の団体に限ります。 			

⑮ キャンプファイヤー




(活動時間の目安：2時間)

概要	仲間とともに炎を囲み、歌を歌ったりゲームやダンスをしたりして楽しむ活動です。		
ねらい	宿泊体験活動に向けての意気込みを固めたり、振り返ったりして、自分や仲間の良さを考えることができます。また、仲間意識を高め、協調性を養うことができます。		
条件	対象	幼児～	人数 第1 営火場 120名(電源有) 第2 営火場 50名(電源有) 第3 営火場 20名(無) 第4 営火場 50名(電源有) 野球場 200名以上(無)
	時期	5月～10月	実施判断 —
準備物	交流の家(貸出物品)	団体(準備物)	個人(準備物)
	<input type="checkbox"/> アンブ <input type="checkbox"/> マイク <input type="checkbox"/> 片付けセット <input type="checkbox"/> 消火用バケツ <input type="checkbox"/> 説明資料(指導の手引き)	<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 衣装 <input type="checkbox"/> 薪・トーチ(購入可) <input type="checkbox"/> 点火用具 <input type="checkbox"/> BGM(貸出可) <input type="checkbox"/> ゲーム用具	<input type="checkbox"/> 懐中電灯(シナリオによりご準備ください)
引率者の役割	団体責任者	時間管理や全体の状況把握、活動の指導をします。	
	グループ責任者	活動中の人数の把握と健康状態の確認をします。また、活動中の行動や火の取扱いなどの注意喚起をします。 (学校では担任が一般的)	
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。	
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> • 物品の貸出や回収を行います。 • 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 		
活動の流れ	<p>【施設入所前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 薪等を購入する場合は、入所40日前までに食事申込書の物品欄に記入して提出します。 • 進行シナリオの作成や引率者と参加者の役割分担をします。 <p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 実施方法(準備・片付け)を事務室にて確認します。 • 活動までに薪組み、物品(トーチ、消火用バケツなど)の準備をします。明るい時間に行うようにしてください。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 団体責任者の指示で準備してきたシナリオに沿って実施します。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 引率者は完全消火と片づけをします。(片付けセットのマニュアルに沿って確実にいきます。) • グループ責任者は貸出物品をもとの場所へ返却します。 		
安全管理留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○火の扱いには十分に注意してください。 ○入退場時は暗闇になるので、足元などに気を付けて歩いてください。 ○破損の恐れがあるので、営火台に水をかけないでください。 ○残炭の処理は野外炊飯倉庫前の広場またはグラウンドの体育倉庫の隣にあるドラム缶に入れて、ふたを閉めてください。 		

⑩キャンドルファイヤー



(活動時間の目安：1時間～2時間)

概要	仲間とともにキャンドルを囲み、歌を歌ったりゲームやダンスをしたりして楽しむ活動です。		
ねらい	宿泊体験活動に向けての意気込みを固めたり、振り返ったりして、自分や仲間の良さを考えることができます。また、仲間意識を高め、協調性を養うことができます。		
条件	対象	幼児～	人数 体育館……………300名 総合研修館…100名 武道場……………50名
	時期	通年	実施判断 —
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）	個人（準備物）
	<input type="checkbox"/> アンプ・マイク <input type="checkbox"/> しょく台 <input type="checkbox"/> 手持ちしょく台 <input type="checkbox"/> 防火シート・バケツ <input type="checkbox"/> 説明資料（指導の手引き）	<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 衣装 <input type="checkbox"/> ろうそく（購入可） <input type="checkbox"/> 点火用具 <input type="checkbox"/> BGM（貸出可） <input type="checkbox"/> ゲーム用具	<input type="checkbox"/> 特になし
引率者の役割	団体責任者	時間管理や全体の状況把握、活動の指導をします。	
	グループ責任者	活動中の人数の把握と健康状態の確認をします。また、活動中の行動や火の取扱いなどの注意喚起をします。 (学校では担任が一般的)	
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。	
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> • 物品の貸出や回収を行います。 • 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 		
活動の流れ	<p>【施設入所前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • キャンドルを購入する場合は入所40日前までに食事申込書の物品欄に記入して提出します。 • 進行シナリオの作成や引率者と参加者の役割分担をします。 <p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • キャンドルファイヤーの実施方法（準備・片付け）を事務室にて確認します。 • 物品（ろうそく、しょく台、手持ち台、消火用バケツなど）の準備をします。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 団体責任者の指示で準備してきたシナリオに沿って実施します。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 引率者は完全消火と片づけをします。（片付けセットのマニュアルに沿って確実にいきます。） • グループ責任者は貸出物品をもとの場所へ返却します。 		 <p>手持ち燭台</p>
安全管理留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○火の扱いには十分に注意してください。 ○必ず消火用バケツ（貸し出し可）を準備してください。 ○活動終了後に完全に消火してください。 ○床に落ちたろうそくなどは清掃をしてください。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。 		

⑰天体観察



(活動時間の目安：1時間～2時間)

概要	屋内で天体観察用 15cm 屈折式望遠鏡を使ったり、野外で望遠鏡や星座早見表を使ったりして、月や星等を観察することができます。			
ねらい	天体や星空について学ぶことができます。また、それぞれの季節の星空の特徴に触れることができます。			
条件	対象	幼児～	人数	天体観察用の 15cm 屈折式望遠鏡を使ったの観察は 60 名
	時期	通年	実施判断	—
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）	個人（準備物）	
	<input type="checkbox"/> 天体観察用 15cm 屈折式望遠鏡 <input type="checkbox"/> 持ち運び望遠鏡 <input type="checkbox"/> 星座早見表	<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 長袖、長ズボン <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 防寒具（冬季）	
引率者の役割	団体責任者	時間管理や全体の状況把握、活動の指導をします。		
	グループ責任者	<ul style="list-style-type: none"> 活動中の人数の把握と健康状態の確認をします。また、活動中の安全面についての指導や注意喚起をします。 研修指導員からの指示や注意事項などを参加者に伝えます。（学校では担任が一般的） 		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> 物品の貸出や回収を行います。 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 			
活動の流れ	<p>【施設入所前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入所 40 日前までに指導員依頼（活動日程表の提出）をします。指導員が手配できない場合は望遠鏡の貸出のみとなります。 <p>【活動前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出物品を使用する場合は事務室で受け取ります。持ち運び望遠鏡を使用する場合は、明るいうちにファインダーの調整と観察場所への移動をします。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。確認後に貸出物品を参加者に渡します。 グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 参加者は研修指導員から星空の説明を受け、天体観察をします。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ責任者は貸出物品を事務室に返却します。 			
安全管理留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○天体観察用の 15cm 屈折式望遠鏡を使用する場合は、研修指導員への依頼が必要です。研修指導員の手配ができない場合は持ち運び望遠鏡の貸し出しとなります。 ○持ち運び望遠鏡を使用する場合は、明るいうちに引率者の方でファインダーの調整と観察場所への移動をお願いします。 ○参加者は季節に応じて防虫（虫よけスプレー、長袖長ズボン）や防寒をしてください。 ○参加者は懐中電灯を一人 1 個準備してください。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。 			

⑱ そり・スノーチューブ



(活動時間の目安：特になし)

概要	そりやスノーチューブに乗って積雪の斜面を滑り下りる活動プログラムです。		
ねらい	体力の向上を図ることができます。また、ルールを守って安全に活動する力を育みます。		
条件	対象	幼児～	人数
	時期	1月～3月（積雪時）	実施判断
			そり（小56台、大20台） スノーチューブ（ドーナツ型10台、三角型10台）
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）	個人（準備物）
	<input type="checkbox"/> そり（要事前確認） <input type="checkbox"/> スノーチューブ（要事前確認） <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 説明資料（指導の手引き）	<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> 長靴 <input type="checkbox"/> 防寒具（スキーウェア、帽子、防水手袋等）、ゴーグル
引率者の役割	団体責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・実施判断・中断の決定をします。 ・交流の家職員から安全に活動するための説明を聞きます。 ・安全の確保のために引率者のコース配置を指示します。 	
	グループ責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・コースの試走をし、滑り始め及び最終停止位置で指示をします。 	
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。	
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・物品の貸出や回収を行います。 ・引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 ・返却物品の個数と破損の有無の確認をします。 		
活動の流れ	<p>【活動前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体責任者は交流の家職員に物品の返却方法を確認して、指導の手引きを受け取り、指導の手引きをもとに引率者のコース上の配置を決めます。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ責任者は活動開始前にコースの試走をします。滑り始めと最終停止位置を決定し、活動を開始します。 ・グループ責任者は参加者に安全面について指導を行い、コース上で参加者に指示をします。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ責任者は参加者の人数の把握と健康状態の確認をして、事務室に終了の報告をします。報告後に貸出物品の雪や水をよく落として返却します。 		
安全管理留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○滑走場所と登る場所を明確に分けて、一方通行を徹底してください。 ○そりは足をそり内に入れ、ドーナツ型のチューブはおしりを中心の穴に入れて活動してください。三角型のチューブはうつ伏せで使用します。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。 		

⑳スノーシューハイキング



(活動時間の目安：2～3時間)

概要	スノーシュー（雪に沈みにくい器具）で雪上を歩く活動プログラムです。			
ねらい	体力の向上を図ることができます。また、ルールを守って安全に活動する力を育みます。			
条件	対象	小学4年生～	人数	制限なし
	時期	1月～3月（積雪時）	実施判断	雨天時や強風時は中止
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	<input type="checkbox"/> スノーシュー <input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> 救急セット		<input type="checkbox"/> 長靴 <input type="checkbox"/> 防寒具（スキーウェア、帽子、防水手袋等）、ゴーグル
引率者の役割	団体責任者	研修指導員との打ち合わせ（研修指導員を依頼した場合）と実施判断・中断の決定をします。		
	グループ責任者	<ul style="list-style-type: none"> 活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 研修指導員からの指示（研修指導員を依頼した場合）や注意事項などを参加者に伝えます。 （学校では担任が一般的）		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
研修指導員の役割	<ul style="list-style-type: none"> 活動開始の30分前に交流の家で団体責任者と打合せをします。 活動中は道案内をしたり、危険個所で状況に応じた指示を出したりします。 活動終了後に交流の家で団体責任者と振り返りをします。 			
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> 物品の貸出や回収を行います。 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 返却物品の個数と破損の有無の確認をします。 当日活動前の打合せ、活動後の振り返りの進行を行います。 			
活動の流れ	<p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前にハイキングルート、所要時間、危険箇所等を確認します。 引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導（安全指導・準備確認など）をします。 スノーシューの装着方法と返却方法を確認します。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 グループ責任者は安全面について指導を行い、参加者が正しくスノーシューを装着しているか確認した後に活動を開始します。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ責任者は参加者の人数の把握と健康状態の確認をして、事務室に終了の報告をします。報告後に貸出物品の雪や水をよく落として返却します。 			

	<p><研修指導員を依頼する場合></p> <ul style="list-style-type: none"> • 引率者は入所 40 日前までに指導員依頼（活動日程表の提出）をします。 • 団体責任者は活動開始 30 分前に、交流の家事務室で研修指導員と打合せをします。 • 引率者は活動中に研修指導員から指示があった際は参加者全体に伝達と指導を行います。 • 団体責任者は活動終了後に交流の家事務室で研修指導員と振り返りを行います。
<p>安全管理 留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○スノーシューは体重別に合ったサイズを選んでください。 ○歩行中にスノーシューの留め金が外れないように調整し、しっかりと固定してください。 ○必ずグループ単位で行動してください。 ○活動の際は、緊急用に必ず交流の家と連絡が取れるように携帯電話をお持ちください。 ○研修指導員を依頼する場合は参加者 30 名に研修指導員 1 名が目安になります。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。

②1 雪遊び



(活動時間の目安：特になし)

概要	スコップもしくはシャベルを使って、雪像やかまくらづくりなどをする活動プログラムです。			
ねらい	表現のアイデアや作り方の工夫などの想像力を育みます。また、ルールを守って安全に活動する力を育みます。			
条件	対象	幼児～	人数	制限なし
	時期	1月～3月（積雪時）	実施判断	雨天時や強風時は中止
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	<input type="checkbox"/> スコップ <input type="checkbox"/> シャベル <input type="checkbox"/> バケツ	<input type="checkbox"/> 救急セット		<input type="checkbox"/> 長靴 <input type="checkbox"/> 防寒具（スキーウェア、帽子、防水手袋等）、ゴーグル
引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。また安全の確保のために引率者のコース配置や巡回を指示します。		
	グループ責任者	<ul style="list-style-type: none"> 活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 安全の確保と事故防止のための巡回をします。 （学校では担任が一般的）		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> 物品の貸出や回収を行います。 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 返却物品の個数と破損の有無の確認をします。 			
活動の流れ	<p>【活動前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導（安全指導・準備確認など）をします。貸し出し物品を使用する際は返却方法を確認します。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ責任者は参加者に安全面について指導を行います。 参加者は作るものや場所などの計画を立て、活動します。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者は作った作品の発表を行います。 引率者と参加者は雪遊びで作ったものを活動終了後（その日のうちに）必ず崩して、穴などがある場合は埋めます。 グループ責任者は参加者の人数の把握と健康状態の確認をして、事務室に終了の報告をします。報告後に貸出物品の雪や水をよく落として返却します。 			
安全管理留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○スコップやシャベルを使う際は十分に間隔をあけて活動してください。 ○除雪した雪が山積みになっている場所は、崩れやすくなっているので登らないように引率者を配置してください。 ○雪像やかまくらは水分を含んだり、気温が高くなったりすると雪が解けて崩れやすくなるため、雨天時や氷点下にならない日は十分に気を付けて活動してください。 ○かまくら内には脱出用のスコップ・シャベルを必ずおいてください。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。 			